

開創
1300
年祭

Fusuma-e Sound Installation

令和5年

3.11 土 OPEN 9:00~17:00 4.9 日

竹林寺書院

拝観料	個人	大人1,000円・高校生以下400円
	団体(15名以上)	大人800円・高校生以下350円
	未就学児	無料

(宿り音サウンドインスタレーションは境内でも体感いただけます)

※この拝観料で書院での堂本印象画伯襖絵展の拝観と書院・境内での宿り音サウンドインスタレーションを体感いただけます。
※また、この拝観料で「名勝庭園」と国重要文化財仏像多数を奉安する「宝物館」を拝観することができます。

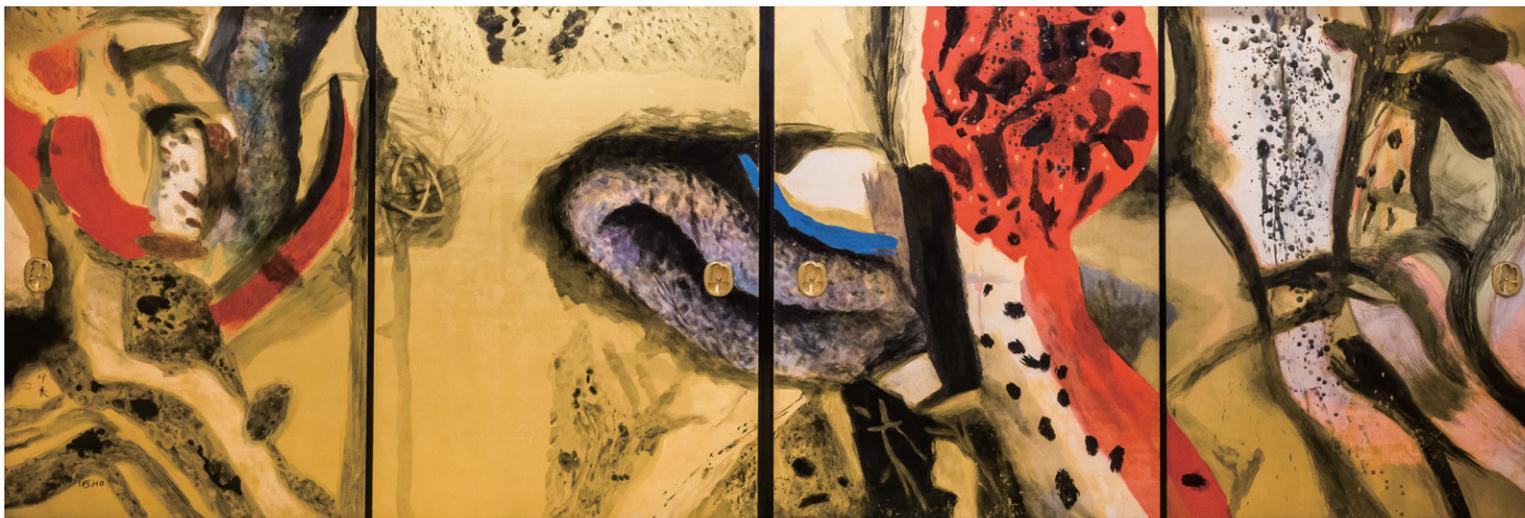
堂本印象襖絵展作品／「風神」「雷神」「太平洋」「瀬戸内海」 及川潤耶音響空間演出／「宿り音～ともしびのありがたみ」
主催／竹林寺 後援／高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、FM高知

竹林寺開創千三百年記念特別公開
体感！堂本印象
その美の世界
―竹林寺襖絵×宿り音サウンドインスタレーション―



INSHO

🌙 夜間拝観 会期中、毎週土日曜日 17時30分～20時30分(最終入場は20時)
特別にライトアップされた名勝庭園や境内をお楽しみいただきながら襖絵の拝観や宿り音サウンドインスタレーションを体感いただけます。



五台山 竹林寺

竹林寺は神亀元年(724年)の開山以来、数限りない人々の祈りに支えられ、令和5年、開創千三百年を迎えます。この勝縁を迎えるに当たり、竹林寺では春秋二期にわたり秘仏本尊特別ご開帳をはじめさまざまな記念行事を行います。

その一環として、当寺が所蔵する日本画壇の巨匠・堂本印象画伯によって描かれた襖絵24面(昭和38年作)を一挙公開します。

竹林寺の作品は日本画家が抽象画で寺院の襖絵を描いたことで当時の画壇に大きな衝撃を与えました。画伯による抽象画襖絵の第一作目となるたいへん貴重な作品です。飽くことなく独自の表現世界を追い求めた堂本印象の美の世界をご堪能ください。

また、本公開では世界的な音響アーティスト・及川潤耶氏による音響作品「宿り音」が襖絵とコラボレートします。絵と音による唯一無二のアート体験。ぜひご期待ください。同氏の音響作品は期間中、名勝庭園や境内でも体感いただけます。

竹林寺開創千三百年記念特別公開
体感! 堂本印象
その美の世界
 | 竹林寺模絵×宿り音サウンドインスタレーション |

INS HO

Fusuma-e

堂本印象

1891年(明治24年)京都生れ。本名三之助。1910年(明治43年)京都市立美術工芸学校を卒業後、しばらく西陣織の図案描きに従事し、1918年(大正7年)、日本画家を志して京都市立絵画専門学校に入学。翌年、初出品した「深草」が第1回帝展に入選した。第3回展では「調鞆図」で特選、また、第6回展の「華厳」では帝国美術院賞を受賞するなど一躍画壇の花形となった。絵画専門学校の教授として、また私塾東丘社の主宰者としても多くの後進を育成、1944年(昭和19年)、帝室技芸員となった。戦後は、独自の社会風俗画により日本画壇に刺激を与えた。1950年(昭和25年)、芸術院会員。さらに1955(昭和30年)以降は抽象表現の世界に分け入り、その華麗な変遷は世界を驚かせた。多くの国際展にも招かれ、1961年(昭和36年)には文化勲章を受章した。1966年(昭和41年)、自作を展示する堂本美術館を自らのデザインにより設立。また、様々な技法を駆使しあらゆる画題をこなす画才は、各地の寺社仏閣の障壁画においても発揮され、多くの作品を残した。1975年(昭和50年)9月逝去、83歳。なお、美術館は1991年(平成3年)8月にその所蔵作品とともに京都府に寄贈され、1992年4月京都府立堂本印象美術館として開館し今日に至っている。

及川潤耶

1983年(昭和58年)仙台市出身。欧州と日本を中心に活動。東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。2011年(平成23年)、世界最大のメディア芸術センター「ZKM」の客員芸術家として渡独。自然とテクノロジーと音響を繋ぐ「音の環境芸術」に特化した新進的な活動は海外のメディア芸術祭や美術館、庭園、公共空間などで幅広く紹介されている。
 2018年(平成30年)、森山末來とヨン・フィリップ・ファウストロムとの共作「SONAR」(横浜)を発表。欧州最大規模の「デザインミュージアム ピナコテーク・デア・モデルネ」(ドイツ)にて、バウハウス生誕100周年記念事業に参加。世界で活躍する5人のクリエイターの一人として同美術館史上初となる音の委嘱新作を展示。末踏の領域を開拓してきたそのアート作品は、フランス最大の電子音楽賞「Qwartz Music Awards」(実験・研究部門最高賞)、ポルトガルの「SEMIBREVE EDIGMA Award」(最高賞)等、各国で高い評価を受けている。
<https://junya-oikawa.com>



Sound Installation

開創 1300 年祭

春期

期間

4月15日(土)~5月14日(日)
 9:00~17:00



秘仏本尊文殊菩薩特別ご開帳

開山・行基作と伝えられる本尊・文殊菩薩は古来、「日本三文殊随一」の霊像と尊ばれています。本尊は秘仏にして50年に一度のご開帳と定められていますが、この度の記念年に当たり特別ご開帳いたします。(※次回のご開帳は2064年。)
 本堂内陣で文殊菩薩さまを直接拝むことができます。また結縁のしるしとしてお一人お一人に息災堅固を祈念した「宝印加持」をお授けするとともに、特別ご開帳限定の記念品をお授けいたします。



行基像特別公開

その生涯を人々の救済に尽くし菩薩と崇められる竹林寺の開基・行基の尊像を初公開します。

『竹林寺 千三百年のともしび』展

開創から今日に至る竹林寺千三百年の歴史を寺宝の数々とパネル展示でたどります。
 旧三重塔本尊・宝冠釈迦如来像や土佐藩主山内忠義公正室・阿姫が徳川家康公の菩提を念じて施入した家康公位牌、金銅製華鬘など多数の什物を初公開します。

秋期

期間未定



菩提心曼荼羅特別拝観

開創千三百年を記念し制作された「菩提心曼荼羅」を公開します。同曼荼羅はわが国の仏教絵画史上、他に類を見ない絵画表現をとるもので、竹林寺の本尊文殊菩薩が人々を救済する威力を描いた四つのストーリーを通じて現代をよりよく生きる道しるべともいべきみ仏の教えを伝えます。期間中、僧侶が同曼荼羅の絵解きをします。

光と音のインスタレーション 『千三百年の祈り』(仮称)

竹林寺開創千三百年のために制作された光と音のインスタレーション作品を一挙公開します。境内や諸堂の随所にプロジェクションマッピングを始め光と音の作品がちりばめられ、千三百年の祈りとこれからの祈りを伝えます。

その他

みうらじゅん×いとうせいこう両氏によるトークイベント、清風中学校校長・平岡宏一氏の仏教講演会などを開催します。

※期間中は駐車場の混雑が予想されます。
 できるだけ公共交通機関(MY遊バス)のご利用をお願いします。
 また、期間中、高知新港臨時駐車場より無料シャトルバスが運行されています。
 ※催事内容や日程は変更になる場合もあります。

詳しくは
 竹林寺ホームページ
 「竹林寺開創千三百年特設サイト」
 をご覧ください。



四国霊場第31番札所 五台山 竹林寺

〒781-8125 高知県高知市五台山3577
 Tel.088-882-3085
 Fax.088-884-9893
 e-mail/info@chikurinji.com
<http://www.chikurinji.com/>

竹林寺 検索

- 高知自動車道高知I.Cから約20分
- JR高知駅から約20分
- 高知龍馬空港から約30分

